

農業振興拠点（道の駅）基本計画（案）に対する意見募集の実施結果

農業振興拠点（道の駅）基本計画（案）に対する意見募集を実施したところ、7件の意見が提出されましたので、意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。なお、意見は内容ごとに集約させていただきました。

意見提出期間	令和7年2月3日～令和7年3月4日
意見件数	3人 7件

○提出された意見の概要及び意見に対する市の考え方等

番号	意見の概要	市の考え方	計画案への反映
1	導入施設の規模について、全体規模に対して施設ゾーンが狭い。体験ゾーンと駐車場ゾーンを作るための計画だと思ってしまう。	本計画における各施設の規模は、東日本高速道路株式会社等の設計要領や他の道の駅の事例等に基づき、積算しております。 導入施設の具体的な規模については、今後策定を予定している管理運営計画や施設設計において、一体的な施設となるよう施設の管理・運営者の意向を確認しながら、検討してまいります。	原案どおり
2	J A南彩菖蒲グリーンセンターや食事処を連携ではなく、道の駅の施設として編入する。	J A南彩菖蒲グリーンセンターについては、J A南彩が建替え後も運営することを予定しております。 そのため、グリーンセンターを含めた道の駅として、一体的な整備を検討してまいります。	原案どおり
3	調整池、体験ゾーン及び芝生広場は、利用形態によって、人の居ない広場となりかねない。	体験ゾーンについては、久喜市特有の機能として、農業振興機能で市民農園の設置及びスポーツ振興機能でサイクリング施設の設置を予定しております。なお、サイクリング施設におけるランニングバイク等のコースは、調整池内での整備を考えております。 令和7年度の管理運営計画等の中	原案どおり

		でソフト事業も含めて検討し、賑わいを創出できる場としての整備を検討してまいります。	
4	森下コミュニティセンターがあるのに会議室、防災施設は不要である。	農業振興拠点（道の駅）は、災害時における一時避難所としての使用を想定しております。そのため、防災施設は、防災備蓄倉庫の他、災害時以外の場合においても活用できる設備として、かまどベンチ等の設置を考えております。 また、会議室は、市民の皆様の利用の他、防災教室等の屋内イベントによる活用も検討していることから必要な施設と考えております。	原案どおり
5	市民農園を道の駅に設置する意味がない。	農業振興拠点（道の駅）における市民農園は、周年で収穫体験ができる他、収穫祭等のイベントの実施も検討しております。 市民農園での農業体験等を通じて、市内外の皆様を楽しむことができる、賑わいを創出できる場となるよう検討してまいります。	原案どおり
6	農協の直売所を活用した方が良いのではないか。	市とＪＡ南彩は、令和４年３月に農業振興拠点整備に向けた基本協定を締結しており、ＪＡ南彩が建替えを予定している菖蒲グリーンセンター（直売所）を含めた道の駅として、ＪＡ南彩と連携しながら一体的な整備を検討してまいります。	原案どおり
7	無農薬の商品を開発し、食の大切さを中心に検討した方が良いのではないか。	農業振興拠点（道の駅）は、久喜の自然と魅力に触れあえる体験型道の駅久喜アグリ・ビレッジをコンセプトとし、食育の促進を図ることとしております。農業体験や地元食材を使った料理を通じて、食と農の大切さを伝えられる施設となるよう検討してまいります。	原案どおり

【問い合わせ】

農業振興課 農業振興係

電話 0480-85-1111 内線 335, 336

nogyoshinko@city.kuki.lg.jp